



下野 貴也 (しもの たかや)

地質情報研究部門 資源テクトニクス研究グループ

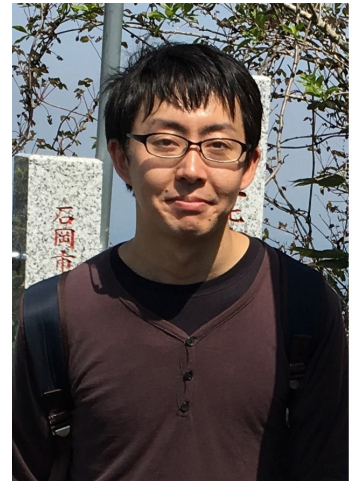
2020年4月より産総研特別研究員として地質情報研究部門資源テクトニクス研究グループに配属となりました。下野貴也と申します。2015年に筑波大学で博士号を取得し、その後5年間、明治大学ガスハイドレート研究所で博士研究員を経て、現職にいたります。

専門は古地磁気・環境磁気学で、海洋コアの磁性に関する研究をおこなっております。学部生の頃に古地磁気研究の幅広さと未開の地を研究する海洋分野に惹かれ、これまで国内外の海洋調査経験をもとにレアアース泥を含む南太平洋の遠洋性粘土や日本海的气体(メタン)ハイドレートを含む粘土、漂流岩砕を含むオホーツク海の粘土など様々な海底の堆積物を対象に研究をおこなってきました。

堆積物の特徴から過去の堆積環境を知るため、古地磁気層序による年代推定をおこなうと共に磁気測定、化学分析、鉱物分析、顕微鏡観察などを組み合わせ、地球環境の移り変わりによって変化する供給物質や

海底の酸化還元状態、元素濃集プロセスの解明を目指して研究をおこなっております。また、自身らの研究で南太平洋の深海底にも広く分布していることが分かってきた走磁性バクテリア由来の磁鉄鉱や過去の日本海海底など還元環境において作られる硫化鉱物由来の磁性鉱物にも興味を持っております。

本研究所では、海底物理探査を含む海洋調査にも加わり、自身の知見を広げていけたらと考えております。これからどうぞよろしくお願い致します。



吉原 直志 (よしはら なおゆき)

地圏資源環境研究部門 地下水研究グループ

本年度4月より地圏資源環境研究部門地下水研究グループに配属されました。吉原直志です。昨年度3月に筑波大学の生命環境科学研究科地球科学専攻で修士号を取得し、このたび修士型研究員として採用していただきました。

大学院では、高密度電気探査による斜面浅部(深度数m程度)の地下構造の推定を行いました。具体的には、山地斜面の比抵抗分布にもとづき、表層崩壊の発生に関わる軟弱土層の空間分布を推定しました。この研究を通して、実際に見ることの難しい環境や構造を、様々な手法で可視化する面白さに気づきました。これをきっかけに研究を仕事にしていきたいと考えようになりました。

地下水研究グループでは、地形学的な視点を取り入れながら地下水調査のノウハウを吸収していきたいです。今まで以上に水文学・地質学について深く、そして幅広く理解する必要があるため、まずは専門知識

や調査技術の習得に努めたいと思います。水文環境図の作成をはじめとして、これから様々な形でGSJに貢献できるように精進します。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。





中谷 是崇 (なかたに これたか)

地質情報研究部門 平野地質研究グループ

こんにちは。2020年4月より修士型採用で地質情報研究部門平野地質研究グループに配属になりました。中谷是崇と申します。横浜国立大学理工学部建築都市・環境系学科を卒業し、同大学院環境情報学府自然環境専攻で修士課程を修了しました。

私は学部から修士まで三浦半島の前弧海盆堆積物の調査研究を行ってきました。野外調査で地層の一枚一枚を細かく記載し、岩相層序を組み立ててきました。また、昔の地球磁場の記録である古地磁気や、火山灰が堆積した地層の対比によって地層の堆積年代を推定したり、砂岩層中の砂粒子の配列傾向に着目し、堆積物を運んだ昔の流れの方向を推定したりしていました。

GSJでは紀伊水道の地質・活断層調査を行うことになっています。自分にとっては新しい地域の調査になるので、非常に楽しみです。GSJではこれまで以上に野外に出る機会が増えると思いますので、今までの経験を活かしつつさらにパワーアップしていきたいです。

す。何事にも挑戦する心を持って、いち早く一人前の研究者として成果を上げられるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



椎名 高裕 (しいな たかひろ)

活断層・火山研究部門 地震テクトニクス研究グループ

2020年4月より、活断層・火山研究部門地震テクトニクス研究グループに配属されました椎名高裕です。私は、地震が発生したときに観測される地震波の特徴から地球内部の構造を調べ、特に沈み込み帯における地震の発生メカニズムや水の循環プロセスの解明を目指した研究をこれまで行ってきました。

地表で観測される地震波形データには、広く知られているP波やS波(直達波)以外にもさまざまな特徴を持つ波形が記録されています。このうち、直達波の後に続いて観測される波群は後続波と呼ばれ、直達波の解析からは検出の難しい、地球内部に局在化した構造の存在を示す直接的な証拠となります。私は、そのような後続波を中心とする地震波形データの解析を通して、地球内部へ沈み込む海洋リソスフェア内部の詳細な構造を明らかにしてきました。活断層をはじめとする断層帯周辺部は、地球の中で最も複雑な構造が発達する領域の一つであり、後続波を含め、特徴的な地

震波形が観測されています。今後はそのような地震波形データから断層帯内部や周辺の地震学的特徴を明らかにし、断層の物理特性や物質構造の解明につなげられるよう研究に励みたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

